

ルネサステクノロジ開発環境ソフトウェア製品 Windows Vista(R)対応のお知らせ (2)

Windows Vista上でのルネサステクノロジ製開発環境ソフトウェア製品の動作 確認結果と、Windows Vistaへの対応計画についてご連絡します。

なお、本ニュースは2007年2月1日に発行しましたルネサステクノロジ開発環境ソフトウェア製品 Windows Vista対応のお知らせ (1)の続報です。

1. 動作確認結果の概要

2項の対象製品について、3項の問題と回避方法に記載している回避策を実施した場合、Windows Vista上で基本機能が動作することを確認しました。

ただし、いくつかの製品および動作に4項の制限事項がありますので、従来のWindows上(XP/2000等)で使用されることを推奨します。

また、新たな制限事項を追加する可能性がありますので、その場合はツールニュースで別途ご案内します。

2. 対象製品

動作確認を実施した製品名を示します。

2.1 統合開発環境および関連ユーティリティ

- 統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V.4.02.00
- オートアップデートユーティリティ V.1.03.00
- ドキュメントアップデート V.2.00.01

2.2 コーディングツール

- SuperH RISC engineファミリ用C/C++ コンパイラパッケージ V.9.01 Release 00
- M32Rファミリ用C/C++コンパイラパッケージ V.5.00 Release 00
- M32Cシリーズ用Cコンパイラパッケージ V.5.41 Release 01
- M16Cシリーズ用Cコンパイラパッケージ V.5.43 Release 00
- H8SX, H8S, H8ファミリ用C/C++コンパイラパッケージ V.6.01 Release 03
- 79xxシリーズ用Cコンパイラパッケージ V.4.10 Release 1C
- 77xxシリーズ用Cコンパイラパッケージ V.5.20 Release 4B

- 740ファミリ用コンパイラパッケージ V.1.01 Release 01
- 740ファミリ用アセンブラパッケージ V.4.10 Release 02
- MISRA Cルールチェッカ SQMlint V.1.03 Release 00
- Peripheral Driver Generator V.1.01.000 (日本語版のみ)
- マスクファイル変換ユーティリティ MM V.3.00 Release 2

2.3 シミュレータデバugga

- SuperH RISC engineファミリ用シミュレータデバugga V.9.06.00
- M32Rファミリ用シミュレータデバugga M3T-PD32RSIM V.3.01 Release 00
- M32Cシリーズ用シミュレータデバugga V.1.02 Release 00
- M16C, R8C/Tinyシリーズ用シミュレータデバugga V.1.02 Release 00
- H8SX, H8S, H8ファミリ用シミュレータデバugga V.5.05.00
- 740ファミリ用シミュレータデバugga V.1.02 Release 00

2.4 エミュレータデバugga/エミュレータソフトウェア

- E200Fエミュレータ R0E0200F0EMU00およびR0E0200F2EMU00用
エミュレータソフトウェア V.1.07 Release 00
- E200Fエミュレータ R0E0200F1EMU00用
エミュレータソフトウェア V.2.03 Release 00
- E10A-USB エミュレータソフトウェア V.2.08 Release 00
- E10A-USB デバイスグループ追加用 ライセンスツール
- E10A-USB H8Sデバイスグループ追加用 ライセンスツール V.3.00 Release 00
- E10A-USB H8SXデバイスグループ追加用 ライセンスツール V.3.00 Release 00
- E10A-USB SH-2デバイスグループ追加用 ライセンスツール V.3.00 Release 00
- E10A-USB SH-2Aデバイスグループ追加用 ライセンスツール V.3.00 Release 00
- E10A-USB SH-3デバイスグループ追加用 ライセンスツール V.3.00 Release 00
- E10A-USB SH-Mobileデバイスグループ追加用
ライセンスツール V.3.00 Release 00
- E10A-USB New_SH-Mobileデバイスグループ追加用
ライセンスツール V.3.00 Release 00
- E10A-USB SH-4デバイスグループ追加用 ライセンスツール V.3.00 Release 00
- E10A-USB SH-4Aデバイスグループ追加用 ライセンスツール V.3.00 Release 00
- E10T-USB エミュレータソフトウェア V.2.01 Release 00
- E8 エミュレータソフトウェア V.2.09 Release 02
- M32Rファミリ用エミュレータデバugga M3T-PD32RM V.3.01 Release 00
- M32Rファミリ用エミュレータデバugga M3T-PD32R V.5.01 Release 00
- M32Cコア内蔵SoC用エミュレータ M3T-PD308SDI V.1.00 Release 00
- M32C, M16C R8C PC7501 エミュレータデバugga V.1.02 Release 00
- M32C, M16C, 740 PC4701 エミュレータデバugga V.1.02 Release 00
- M32C, M16C R8C, 740 コンパクトエミュレータデバugga V.1.02 Release 00
- M32C, M16C FoUSB/UARTデバugga V.1.02 Release 00
- H8SXファミリ用E6000HEミュレータ V.4.03 Release 00
- H8S/2628グループ用E6000HEミュレータ V.2.00

- H8/3052グループ用E6000エミュレータ V.2.00 Release 00
- H8/300L Super Low Powerシリーズ用E6000エミュレータ V.6.00 Release 01
- H8/300H Tiny コンパクトエミュレータデバッグ V.1.01 Release 00
- AEシリーズ用E6000Hエミュレータ V.2.02 Release 00
- AEシリーズ用E6000エミュレータ V.6.00 Release 00
- AE-5用SE-IEミュレータ V.2.01 Release 00
- 4500シリーズ用エミュレータデバッグM3T-PD45M V.1.21 Release 00
- 720シリーズ用エミュレータデバッグM3T-PD72M V.1.00 Release 02

2.5 リアルタイムOS

- SuperH RISC engineファミリ用リアルタイムOS
 - HI7000/4 V.2.02 Release 02
 - HI7700/4 V.2.02 Release 02
 - HI7750/4 V.2.02 Release 02
 - HI7300/PX V.1.01 Release 01
- M32Rファミリ用リアルタイムOS
 - M3T-MR32R V.3.50 Release 2
 - M3T-MR32R/4 V.4.00 Release 00
- M32Cシリーズ用リアルタイムOS
 - M3T-MR308 V.1.20 Release 1B
 - M3T-MR308/4 V.4.00 Release 02
 - M3T-MR308/4 V.4.00 Release 02A *
- M16Cシリーズ用リアルタイムOS
 - M3T-MR30 V.3.30 Release 2
 - M3T-MR30/4 V.4.00 Release 00
- H8SX,H8Sファミリ用リアルタイムOS
 - HI1000/4 V.1.04 Release 00
- リアルタイムOSデバッグ Debugging Extension V.1.08 Release 00

* M3T-MR308/4 V.4.00 Release 2Aは、M3T-MR308/4 V.4.00 Release 02のM32Cコア内蔵SoC DVP-M2(S)およびDVP-C3専用バージョンです。

2.6 フラッシュ書き込みツール

- Flash Development Toolkit V.3.07 Release 02
- F-ZTATマイコンオンボード書き込みプログラム HS6400FWIW5SR Ver.5.0C

3. 問題と回避方法

(1) インストール

2007年02月01日発行 RENESAS TOOL NEWS 資料番号：070201/tn6の内容と同じです。

- 問題

管理者権限でログインしても、インストール中に管理者権限を要求されることがあります。

- 回避方法

管理者権限でログインして、インストーラ/アップデートのプロパティを開き、「互換性」タブで次の設定を行なってください。

- (a) "管理者としてこのプログラムを実行する"をチェックしてください。
- (b) "互換モードでこのプログラムを実行する"をチェックし、ドロップダウンリストで"Windows XP (Service Pack 2)"を選択してください。

(2) 設定内容(登録)の保存

2007年02月01日発行 RENESAS TOOL NEWS 資料番号 : 070201/tn6の内容と同じです。

- 問題

統合開発環境High-performance Embedded Workshopやフラッシュ開発ツールキットFlash Development Toolkit等の製品は、インストールしたフォルダ以下に製品の構成情報を出力していますが、Windows Vistaではエラーが表示されます。

- 回避方法

管理者権限でログインして、アプリケーション(*.exeファイル)のプロパティを開き、「互換性」タブで"管理者としてこのプログラムを実行する"をチェックしてください。

(3) Windows Aero使用中の操作

2007年02月01日発行 RENESAS TOOL NEWS 資料番号 : 070201/tn6の内容と同じです。

- 問題

Windows Aeroを使用した状態でHigh-performance Embedded Workshopでブレークポイントを設定する場合、クリックした行ではなく、他の行にブレークポイントが設定される場合があります。なお、Windows Aeroを無効にしている場合、この問題は発生しません。

- 回避方法

管理者権限でログインして、アプリケーション(*.exeファイル)のプロパティを開き、「互換性」タブで "設定"の"デスクトップコンポジションを無効にする"をチェックしてください。

(4) ヘルプ表示

- 問題

ヘルプ (状況依存ヘルプを含む) が表示できない場合があります。

- 回避方法

下記マイクロソフト コーポレーション (Microsoft Corporation) のホームページからWindows ヘルプ (WinHlp32.exe)をインストールしてください。

日本語版

英語版

(5) オートアップデートユーティリティを使用した各種製品のアップデート

- 問題

オートアップデートユーティリティを使用した各種アップデートができない。

- 回避方法

各製品のアップデートは、オートアップデートユーティリティの設定を継承して実行されるので、管理者権限でログインして、オートアップデートユーティリティAutoUpdate.exeのプロパティを開き、「互換性」タブで次の設定を行なってください。

- (a) "管理者としてこのプログラムを実行する"をチェックしてください。
- (b) "互換モードでこのプログラムを実行する"をチェックし、ドロップダウンリストで"Windows XP (Service Pack 2)"を選択してください。

(6) Windows(R) ExplorerからのHigh-performance Embedded Workshopへのドラッグアンドドロップ

- 問題

- (a) Windows(R) ExplorerからHigh-performance Embedded Workshop上の任意の位置へファイルをドラッグアンドドロップしてもファイルを開けません。
- (b) Windows(R) ExplorerからHigh-performance Embedded Workshopのアクティブプロジェクト上へファイルまたはフォルダをドラッグアンドドロップしてもアクティブプロジェクトへ追加できません。

- 回避方法

- (a) ファイルを開くには、High-performance Embedded Workshop内の「ファイルを開く」ダイアログボックスからファイルを選択して開いてください。
- (b) アクティブプロジェクトへファイルを追加するには、High-performance Embedded Workshop内の「プロジェクトにファイルの追加」ダイアログボックスからファイルを選択して追加してください。

(7) USBドライバのインストール

- 問題

USBドライバがインストールされません。

- 回避方法

管理者権限でログインして、インストーラまたはアップデートのプロパティを開き、「互換性」タブで次の設定を行なってください。

- (a) "管理者としてこのプログラムを実行する"をチェックしてください。
- (b) "互換モードでこのプログラムを実行する"をチェックし、ドロップダウンリストで"Windows XP (Service Pack 2)"を選択してください。

(8) エミュレータ使用中の低消費電力モードへの移行

- 問題

エミュレータをUSB接続で使用し、Windows Vistaがスリープモードおよび休止モードに移行した場合、デバッガが終了できなくなる場合があります。

- 回避方法

Windows Vista上で、スリープモードおよび休止モードに移行しないように設定してください。

(9) M32Rファミリ用エミュレータデバッグ M3T-PD32R、

M32C, M16C R8C PC7501エミュレータデバッグ、
M32C, M16C, 740 PC4701エミュレータデバッグに付属の
IPアドレス設定ユーティリティ

- 問題

該当製品を使用した場合、ネットワーク上に接続されたエミュレータの情報(MAC
アドレス* および製品シリアル番号)が表示されず、IPアドレスを設定できませ
ん。

* ネットワークに接続されている機器を識別するための固有の番号。

- 回避方法

エミュレータを他の通信インタフェース(USBなど)でPCと接続した後、エミュレ
ータデバッグのInitダイアログでIPアドレスを設定してください。Initダイア
ログによるIPアドレス設定については、エミュレータデバッグのユーザーズマニ
ュアルもしくはオンラインヘルプを参照してください。

(10) M32R, M32C, M16CリアルタイムOSのカーネルのコンパイル

- 問題

"Program Files"等のシステムフォルダにインストールした場合、コンパイル
できません。

- 回避方法

システムフォルダ以外の書き込み可能なフォルダにインストールしてください。

(11) SuperH, H8SX, H8Sファミリ用リアルタイムOSのカーネルのフォルダ表示

(日本語版のみ)

- 問題

スタートメニューから、カーネルフォルダを選択した場合、カーネルの
フォルダを開けません。

- 回避方法

Windows(R) Explorer等を利用し、製品をインストールした
ディレクトリから"Kernel"フォルダを開いてください。

(12) Flash Development ToolkitのFlash Propertiesウィンドウ表示

- 問題

Flash PropertiesウィンドウのProgrammerタブで、初期値が表示されない
場合があります。

- 回避方法

設定用ダイアログを開き、OKボタンをクリックして、再度表示させて
ください。

(13) Flash Development Toolkit V.3.06およびV.3.07の専用アンインストーラ

- 問題

インストール後、V.3.06およびV.3.07の専用アンインストーラがデスクトップ

上に表示されない場合があります。

- 回避方法

Windows(R) Explorerの「フォルダオプション」ダイアログの「表示」タブで、「保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない(推奨)」のチェックを外してください。

4. 制限事項

(1) 64ビット版Windows Vista

2007年02月01日発行 RENESAS TOOL NEWS 資料番号：070201/tn6の内容と同じです。

64ビット版Windows Vistaでは、エミュレータ等のドライバをインストールできません。また、16ビットのアプリケーションを実行できません。

64ビット版のサポートは検討中であり、当面32ビット版での使用をお願いします。

(2) High-performance Embedded Workshopのバージョン管理システム

バージョン管理システムのコマンドの実行をDOSウィンドウで行うと、コマンド実行の最終行に「このコマンド実行するのに十分な記憶領域がありません。」エラーが表示されます。

(3) High-performance Embedded Workshopのヘルプトピック

「ヘルプ->トピック」でヘルプトピックを開き、そのタブを切り替えると、High-performance Embedded Workshop本体のヘルプのインデックスファイル(Hew.chw)が自動生成されます。

(4) High-performance Embedded Workshopのワークスペースおよびプロジェクト(日本語版のみ)

「プロジェクトにファイルを追加」ダイアログボックスで、「登録済みファイルを非表示」チェックボックスをチェックしても、プロジェクトに登録済みのファイルを非表示にできません。

(5) ドキュメントアップデートでのファイルのドラッグアンドドロップ

My Manuals機能で権限のないファイルのドラッグアンドドロップができません。

(6) E200Fエミュレータのリアルタイムプロファイルウィンドウ

リアルタイムプロファイルウィンドウの[Select Page]ダイアログでページ情報部の文字が表示されません。

(7) E10A-USBエミュレータおよびE200Fエミュレータのトレース設定ダイアログ

英語版Windows Vista上で、E10A-USBおよびE200Fエミュレータのトレースの[Acquisition]

ダイアログで文字の表示が欠ける場合があります。また、[Trace Window Type]ダイアログでもドロップダウンリストに選択枝の文字列をすべて表示できない場合があります。

(8) E10A-USBエミュレータにおけるSH-3, MPEG, SH-Mobile, およびSH-2デバイスグループ

SH-3, MPEG, SH-Mobile, およびSH-2のデバイスグループは使用できません。
ただし、一部のデバイスグループには回避策がありますので、以下に示します。

(a) **SH-3デバイスグループ中のSH-3(Core)以外のデバイスグループ**をご使用になる場合の回避策

SH-3デバイスグループをインストールし、HEW起動前に次のフォルダ以下を削除してください。

[HEWインストールフォルダ]

¥Tools¥Renesas¥DebugComp¥Platform¥E10A-USB¥SH-3¥SH-3(Core)

(b) **SH-2デバイスグループ中のSH-2(7618)以外のデバイスグループ**をご使用になる場合の回避策

SH-2デバイスグループをインストールし、HEW起動前に次のフォルダ以下を削除してください。

[HEWインストールフォルダ]

¥Tools¥Renesas¥DebugComp¥Platform¥E10A-USB¥SH-2¥7618

(9) AE-5用SE-IEミュレータのフラッシュ書き換えツール

SeiSetup.exe(フラッシュ書き換えツール) が使用できません。

従来のWindows(XP/2000等)のPC上で、フラッシュ書き換えを行なってください。

5. Windows Vistaへの対応計画

2007年02月01日発行 RENESAS TOOL NEWS 資料番号 : 070201/tn6の「2.2 Windows Vistaへの対応」で、8月以降にリリースする新製品(リビジョンアップを含む)から順次対応を行なう予定とご連絡しましたが、製品によっては、8月以降のリリースでもWindows Vistaに対応できない場合があります。詳細は各製品のバージョン・リビジョンアップのお知らせのツールニュースをご確認ください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。